

## 日本専門新聞特集号

発行 公益社団法人 日本専門新聞協会

広報委員会

東京都港区虎ノ門1-2-12 第2興業ビル〒105-0001

TEL.03-3597-8881 FAX.03-3508-8888 http://www.senmonshinbun.or.jp

はじめ政・官界、韓国専門新聞協会からも多数の来賓が出席する。

東京・帝国ホテルで開

テルにおいて第八回新聞週間・日本専門新聞大会フェスティバルを開く。当日は協会加盟各社を

公益社団法人日本専門新聞協会(楢原茂理事長)は10月16日、東京・千代田区内幸町の帝国ホ

## 第71回 日本専門新聞大会

## 大会アピール

世界の政治・経済が激動するなか、日本は 長年の懸案であるデフレ脱却を目指してい る。一方、少子高齢化による社会保障関係費 の増大は、年々政府の債務残高を際立たせ ている。日本の成長は、新たな財政政策が厳 しい折、TPPをはじめとする経済協定の早期 発効や働き方改革などの規制・構造改革に委 ねられている。われわれ専門新聞は日々的確 な報道活動を行い、社会・経済の発展に寄与 することを、ここに宣言する。

## 大会スローガン

日本経済の更なる成長に向け、 より確かな情報を発信しよう!

> また、協会のバックアップ団体とし 公益的報道活動を展開している。 本専門新聞協会として積極的に では日本で唯一の、公益社団法人日 の公益性が認められ、この種業界 委員会あり、内閣府からその活動 現在設置されている委員会は、

て協会の会員をメンバーとする日本

▼理事=古川興](創樹社)▼同

▼特別顧問

阿阿

**(協会役員業務分掌)** (カツコ内は委員)

光経済新聞社)

鈴木俊一(社会保険研究所)▼同 金子眞紀子(国際農業社)▼同

- すべての専門新聞に消費税軽減税率 の適用を実現しよう!
- 国民の知る権利を守るため、 第三種・第四種郵便制度を堅守しよう!

平成30年 第71回 新聞週間

## 日本専門新聞大会 フェスティバル

薮中三十二氏が時局講演

東」の間で、立命館大学客員教

路」と題した時局講演会が行 するグローバル社会と日本の針 授の薮中三十二氏による「漂流

時30分から同ホテル「孔雀

フェスティバル第1部は、



大盛況のフェスティバル大会会場

審議官を経て、

在シカゴ総 領事

などを

務

の六者協議に主 年外務事務次官 その後 2008 席代表で参加し、 して北朝鮮問題 就 任 した。

|協会活動のあらまし

大阪大学特任教授を経 2010年に外務省を退官し 米新ルール」ほか多数。 授に就任した。現在、講演、

てラッキーカード 抽選などが行わ

親睦を深める。

は 1948 年 われる。薮中氏

大阪府で生まれ

1969 年外務

優良社員表彰、

午後 5 時20分から第 2 部式 が行われる。さらに加盟社代表 化庁長官など来賓代表の祝辞 大会会長の挨拶、宮田亮平文 営委員長の開会宣言、楢原茂 典が開かれる。入澤亨大会運

2018年立命館大学客員教 ローバル寺子屋薮中塾」を主宰 レビ出演などで活躍のほか「グ けない日本」「トランプ時代の日 している。著書には「世界に負

第 1 部時局講演会に続き

外務省本省総務

ブ代表部公使 二課長、ジュネー

課長、アジア局

省入省。

北米第

《功労章》武田正郎(じほう) 《功労章》平野康治(食料新聞社)

ア大洋州局長と

2002 年アジ

を表彰することになった。

## 総勢18名を表彰

盟社の社員に対し表彰を行って いるが、平成30年度は総勢18名 本専門新聞大会式典で、 日本専門新聞協会は、 毎 加

時45分に開会し大塚|雄政治連 第3部はレセプションで、 大会アピー

レーズ入選作発表、

ンクール入選作表彰、

6

読者総数は千二百万人に… 協会加盟社83社 専門分野から厳選された

日本

**専門新聞協会は、第11回新聞週間にちなみ「新聞週** 

作が次のように決まった。10月16日の日本専門新聞大会フェ 間キャッチフレーズ」を全国から募集していたが、その入選

# 盟会長の挨拶、来賓祝辞、そし

入選キャッチフレー

スティバルで披露される。

**動の 今を読み解く 専門紙** 米へつなぐ 確かな情報

西村芳和(一般応募)

**颫する 日本を支える 専門紙 他ある情報 未来を開く** 横手敏夫 (一般応募)

さが違うな 専門紙 報は スマホパソコン 見れるけど

野木広志 (一般応募)

## 《功績章表彰》

業新聞社) 《功績章》山地 《功績章》髙橋 忠雄(建通新聞社) 正德(日刊建設産

村上 則(北海道医療新

《功績章》

▼小島敬人 (医薬経済社) ▼清水 加盟社優良社員表彰》

濵義人(同)▼堤健吾(同)▼山

田浩史 (建通新聞社) ▼村川由美 静香 (同) ▼亀井貴子 (同) ▼上 経済新聞社)▼沼田英樹(同)▼ 子 (建設新聞社 (仙台)) ▼成田 下間斉(日本電気協会新聞部)▼ 〔創樹社〕▼雨宮新1郎 (日本工業

久美子 (環境新聞社)▼上野佳奈

アンドレジャー 務研究所) ▼ 回=小屋勝志 (カー ユース)

▼名誉会長=波田幸夫 (環境新聞

(協会役員・顧問・相談役)

新聞社) ▼監事=砂賀英夫 (日本工業経済 同 秋山智昭(顧問弁

▼相談役=二村 ▼顧問=大塚|雄(金融タイムス社) 博三(東京交通新

〈政治連盟役員〉

項を審議し運営に反映させている。

的報道活動を活発に行うため、各

83社が加盟している。協会は専門

▼副理事長=入澤 ▼理事長=楢原 茂

亨(官庁通信 (薬務公報社)

種の委員会を常設し、随時必要事

昭和22年2月に設立され、現在

各専門委員会の活動 当協会は 各専門委員会の活動

▼幹事長 = 角田勝司 ▼副会長·会計幹事 = 長島貴好 ▼会長=大塚|雄

▼幹事=入澤 ▼副幹事長·会計幹事=須貝律緒 享▼同=積田朋子

聞社)▼同=菊池英也(日刊建設

新聞社) ▼同=山地忠雄

(建通新

タイムズ社)▼同=積田朋子(観

▼常任理事=河合良太郎 (建設

新聞協会)

▼専務理事=須貝律緒 (日本専門

▼同=石井貞德

(旅行新聞新社)

▼同=西原|裕(水道産業新聞社)

▶監査=古川興|▼同=秋山智昭

朋子(古川興一、金子眞紀子、砂 ▼情報化·社会文化委員長=積田

▼新聞大会運営委員長=入澤 亨 ▼関西支部=西原|裕

▼霞門倶楽部代表幹事=西原|裕 梅村英夫、髙宮英敏)

役員は次のとおり 役員、役員の業務分掌、 援活動を活発に行っている。 協会 専門新聞政治連盟を設立し、支

政治連盟

部)▼同=髙宮英敏(酪農乳業速

梅村英夫(日本電気協会新聞

▼内務担当=入澤 亨

·統括=楢原

\*特命担当=石井貞德 \*涉外担当=西原|裕

▼記者会委員長 = 河合良太郎(砂 ▼総合=須貝律緒 眞紀子、鈴木俊、梅村英夫、髙 ▼広報委員長=菊池英也(金子 賀英夫、菊池英也、鈴木俊、梅 ▼組織委員長 = 石井貞徳 (理事 副理事長、常任理事全員) 田朋子、菊池英也、小屋勝志) ▼国際交流委員長=山地忠雄 (積 宮英敏、石井貞德) ▼総務委員長=入澤 亨(理事長、 長、副理事長、常任理事全員)



# 振り返りて平成三十年、 繋がる英知

# 公益社団法人 日本専門新聞協会

理事長 楢

原

支えがあったからこそと存じます。 り行なうことができましたのも偏 が、それら主な行事も滞りなく執 発刊等重要な行事が続きました 祝賀会の開催や七十周年記念史の 年にあたり、記念事業の環として あり、心より感謝申し上げます。 できますことは誠に喜ばしいことで に加盟社をはじめ多くの方々のお 昨年度は、当協会創立七十周

閉じることになります。 により来年四月三十日を以て幕を 平成の時代も、今上天皇の退位

この平成の三十年間を振り返り

多数のご来賓の皆様にご臨席を賜 国専門新聞協会の梁会長をはじめ の方々及び友好関係にあります韓 びに関係諸官庁、在日各国大使館 たり、一言ご挨拶を申し上げます。 新聞大会フェスティバルの開催にあ

本日は、国会議員の諸先生方並

礼申し上げる次第であります。

この場をお借りしまして、厚くお

思います。

それでは、第七十一回日本専門

早い復興をお祈り申し上げたいと

また、被災した方々の日でも 衷心より哀悼の意を表しま したが、日本専門新聞協会を代表 害で、多くの方々が亡くなられま

北海道胆振東部地震」などの災

襲った六月の「大阪北部地震」、七

「西日本豪雨」および九月の

数一堂に会し、盛大に大会を開催た、当協会会員・社員の皆様が多 様々な問題が噴出しているというの 善は認められず、逆にその政策の一てきましたが、現在まで大きな改 脱却すべく様々な政策が講じられ ば平成不況の一因であるデフレから から続いていたバブル経済が弾けま が現状であります。 つである金融緩和政策により 的な停滞がありました。このいわ した。その反動は余りにも大き 二十余年の長きにわたり経済

まご承知のとおりであります。 や労働人口の減少問題等への対策が これに伴って発生した社会保障問題 見ない早さで高齢化が進んでおり、 喫緊の課題となっていることは皆さ また、我が国では、世界に類を

他方で、産業の視点から振り返

日本専門新聞大会フェスティバル挨拶

専門紙は

。産業経済社会発展の推進力

軽減税率、全社適用にご裁断を、

関係国会議員先生方に、最後のお願い

日本専門新聞政治連盟

がるIOTや人工知能(AI)

結びにあたり、当協会加盟社の

当協会は、様々な産業に特化し

的な報道実現に努めて参りますと べく、専門的メディアとしての複眼 年、創立七十一年を迎えるにあた 発展に向けて精進して参る所存で り、引き続き社会の発展に寄与す た専門情報を発信する加盟社が ともに、より一層の組織の充実化と 結集した団体でありますが、本 だきますよう、心よりお願い申し は、これからもご支援・ご協力いた ありますので、加盟社の皆さまに

いたします。本日は誠にありがと 皆様と本日ご出席の皆様のご活躍

ターネットを通じてあらゆる物が繋 化が期待されているところであり 等々

とご発展を祈念して、私の挨拶と

## 茂 希望となっており、今後更なる進 野に及び始めていることは大きな が出現し、これらが様々な産業分 発展がありました。特に、

イン



中でもそれぞれの専門分野業界で の情報の交換は、経営上・仕事上

趣旨と編集方針は微動だに変わり

爾来七十年の今日、創立創刊の

の種業界では初めての「公益社団 認められ平成二十四年四月には、こ

お願い致しまして、ご挨拶といたし ますよう特段のご配慮とご支援を 減税率の適用をぜひとも実施でき 立場にご理解をいただきまして、軽 は、このような専門新聞の現状と 調委員と与党執行部の諸先生方に

その経営方針・編集方針が国に

法人」として認められました。

政府は国のインフラ整備が一段落

必要欠くべからざる条件でした。

信メディアの役割は極めて大きく

してきたわけです。

そのような環境にあって、情報通

輩達から聞き及んでおります。

練の連続であったと今は亡き諸先 り、戦後復興はなにかと厳しい試 は長引いた戦争と敗戦の戦禍によ が創立記念日でありますが、当時 年を迎えました。

発展に全力を尽くしたわけであり を取材収集して、それぞれの業界 夜東奔西走し、そして的確な情報 時の専門新聞発行の諸先輩達は日 そのようなニーズに応えるため、

代の到来で、メディア等活字文化の 同時に超緩和社会・デフレ経済時

真摯な報道活動を続けておりま野の木鐸として、歯を食いしばって

てバブル景気の崩壊がありました。 を過ぎて昭和から平成初頭にかけ

の各加盟社は、厳しい経営環境に

低成長時代に我々専門新聞協会

ありながらも、それぞれの専門分

が、その適用外となりました。

経済が復興し、高度経済成長期

長

雄

に合わせて新聞発行を続けているわ

そのため、それぞれの業界ニーズ

れわれ専門新聞協会加盟社の大半

改正で決めました。

館、関係諸団体に贈呈した。[4

成30年台風7号及び梅雨前線等

市内で開催。[7

月25日(水)]平

議員、関係諸官庁、全国の図書

かに新聞は週二回発行以上に、軽

減税率を適用すると一昨年の税制

際、米味噌醤油等生活必需品のほ

二%アップを実施致しますが、その

近では世の顰蹙をかうような出版

社会も利益中心主義が氾濫。最

物が巷に見受けられますが、われ

国会議員の諸先生並びに与党税

戦後間もない昭和二十二年二月

の立場から、それぞれの業界分野の

特に、新聞、という公共的事業

経営・運営がより健全に発展する

集方針を堅持してきたのでありま よう常に不偏不党・厳正中立の編

の編集方針を、

の編集方針を、頑なに守り今日にわれ専門新聞は創立創業時代から

。まさに業界の木鐸として活躍

り、ひと言ご挨拶を申しあげます。 新聞大会フェスティバルの開催にあた

第七十一回新聞週間 · 日本専門

当協会は昨年二月、創立七十周

## 専門分野から厳選された協会加盟社83社

開催。関係者多数が参加した。

会関西支部では関西に本社を置 選任された。[6月25日(月)]協

品の中から優秀作1点、佳作2 委員会が先に選考した18点の作

点をそれぞれ選考し、新聞大会

史を発刊し、加盟各社、関係国会

盟社各社による定時総会を大阪

で発表し表彰することとした。

く加盟社各社と、支局を置く加

[3月]当協会創立70周年記念

するため、明年十月から消費税の

したいま、少子高齢化時代に対応

界各層の方々が多数参加した。 読者、関係省庁をはじめ国民各

夫妻が招待され

た。創樹社代表

本専門新聞写真コンクールの審査

した。 [9月6日(木)]第26回日

を、当協会が要請した日本写真

取締役会長古川

興一夫妻[5月

会を代表して次の

の加盟社代表者

が赤坂御苑にお

いて開催され、協

考し、理事会選考委員会に提出

い1085点の中から18点を選

レーズ入選作品第1次選考を行 会を開催。平成30年度キャッチフ

氏による「森は海の恋人 人の心 蠣養殖家・エッセイスト畠山重篤

社長中野孝仁夫妻[4月25日

(水)]皇室主催の春の「園遊会」

己夫妻

住宅新報代表取締役

を実施。加盟社役員、社員及び に木を植える」と題して講演会 プションを 霞が 関ビル35階・東

締役社長小山紀

英也夫妻

薬事

日報社代表取

赤十字社を通して義援金15万円

た。本災害で被災された方々を

を中心に甚大な被害が発生し

支援するため、当協会より日本

通信社代表取締

役社長永野正 夫夫妻 石油

大会発表のキャッチフレーズ審査 を贈った。[9月5日(水)]新聞 [1月24日(水)]新春講演会レセ

協会だよ

ŋ

の「桜を見る会」に協会を代表し

21日(土)]内閣総理大臣主催

に伴う大雨災害により、西日

建設タイムズ社代表取締役菊池 て、次の方々が招待された。日刊

大学校友会館において開催。牡

会終了後、加盟社代表者及び社

ついて審議、議決承認した。又、総 30年度事業計画、同収支予算に 学校友会館において開催。平成 総会を霞が関ビル35階・東海大

た。また、同総会において役員選

た結果、それぞれ議決承認され

収支決算報告書·

を慎重に審議し

加盟社特別賞をそれぞれ1点、

秀作14点を選考し、新聞大会で

開催。平成29年度事業報告、同

任について審議した結果、満場一

員を対象に弁護士中川達也氏に

致で議決承認し、2名の役員が

おいてキャッチフレーズ審査選考

(火)]第514回定例理事会に 表彰することとした。[9月11日

よる第6回「著作権セミナー」を

## 『複眼的報道の塔』



## 時代を見すえ悠久の時を刻む ソーラー電波時計

平成16年10月、25年後の後進に夢を託し、 塔の基礎部分には当協会の歴史と伝統を次 の世代に伝えるため、各加盟社発行の記念紙 に記念品を添えて収納し建立したものです。

石原慎太郎元東京都知事をはじめ、都議会 議長、建設局長等の協力と支援を得て、都立 公園では130年と最も古く、由緒ある芝公園 内に、ソーラー三面電波時計付き「複眼的報 道の塔」を建立・寄贈したものです。

皆総数は1,200万人に

た。[2月27日(火)]第9回通常

係者及び会員相互の交流を深め

業報告、決算報告)を霞が関ビル

全国から応募された842点を

協会会員2名の審査員が行った。

審査した結果、文部科学大臣賞

理事長賞 審查委員長賞

35階・東海大学校友会館において

18日(金)]第93

凹通常総会(事

係者をレセプションに招待し、関 講演会終了後は主管庁、協会関





害と救援の緊迫感がよく伝

各地で起き、救助の為多くの 例年になく豪雨による被害が

、達が駆けつけました。その被

公募の小野早苗氏に決まりま

審査委員長賞は「夏色」一般

した。夏の太陽の光の強さが強

## 第71回 新聞週間 第26回 日本専門新聞

まとめ、人間と自然の交流の素 の経過を同じ階調の色合いで れました。この亀の誕生と放流 氏の組写真「誕生の時」が選ば

**大臣賞は一般公募の加藤和弘** 

今回の最優秀賞、文部科学

動しました。見事な組写真で 晴らしさが表現されており、感

理事長賞は大分建設新聞社

## コンクール

## 審査委員長講評

関口 照生氏 

調され、濃いブルー

シルエットが目に止まり 遠い子供の頃を思い出さ ます。現代の中に何処か 中にモニュメントと子供の せる秀作です。

新聞社の荒木勝己氏の作品 「どうやって線路を曲げるの?」 加盟社特別賞は建

と大変嬉しく皆様の作品を拝 ます。応募して下さる皆様が 現するかを考えてみて下さい。 どの様に「一瞬」の物語として表 見させて頂いています。デジタ 作品に反映させていると思いま ルカメラの特徴をよく捕らえて 真撃に写真と向き合っている証 年々写真の質が向上してい あとは「出会いの瞬間」を、

三治郎氏がお亡くなりになり を努めていただきました、南川 最後に長年にわたり審査員

ご冥福をお祈り致します

を救え!耶馬渓の山崩れ~発 の大嶋聖三氏の二刻も早く命

生当日」の組写真です。今年は



### 文部科学大臣賞

誕生の時

加藤和弘/一般応募

一色の



受賞者は10月16日の日本専門新聞大会フェスティバルにおいて表彰される。

この度は栄えある賞をいただ き誠に光栄に存じます。近年、 居住地の近くの海岸で海亀が産 卵しているのを知り時折訪れて おりました。初めて見る光景に 驚きと共に大変感動いたしまし しかし辺りは段々と暗くな ストロボはもちろん禁止で ありますので仕上がりに不安を いだきながら撮影いたしまし た。自然の大切さ、命の尊さ、 自然と共存する生活をより考慮 していかなければと思わされま







れました。総数は842点に

なりました。審査は関口照生

もつい顔がほころびます。

子供達の熱心な表情にこちら て解説している工事関係者と 小さな子供達に微笑みを持つ です。建設中の工事の説明を

と新たに加わった、林義勝(共

に日本写真家協会会員)の両

名で行いました。

の皆様の作品が数多く寄せら の協力により一般、読者、加盟社 募集は、協会の皆様、各加盟社 専門新聞写真コンクールの作品

2018年度、第26回日





### 理事長賞

・刻も早く命を救え! 耶馬渓の山崩れ ~発生当日

大嶋聖三 / 大分建設新聞社



栄誉ある理事長賞をいただ き、誠に感謝申し上げます。 大分県では、地震、豪雨、山 崩れなど、相次いで災害が発 生しています。我々は建設業 界の専門紙として、災害現場 の第一線で活躍する建設業者 を取材する使命があります。 そのため、関係機関との情報 共有、すぐ動ける取材態勢の 構築などに取り組んでいま す。これからも、地域を守る 建設業者の活躍を広くアピー ルし、次世代を担う若者たち へ、建設業のすばらしさを伝 えてまいります。



### 審查委員長賞

夏色

小野早苗 / 一般応募

今回、このような素晴らしい賞をいただき、とても嬉しく思う と同時に、身が引き締まる思いがします。私の故郷・香川県の公 園にある時計塔。この場所で息子たちと過ごした夏の時間を、記 憶の中に焼きつけるような気持ちでシャッターを切りました。こ の受賞をはげみに、これからも私らしい写真を撮り続けていきた いと思います。この度は本当にありがとうございました。

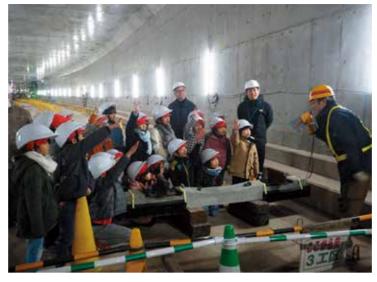




## 第71回 新聞週間 第26回 日本専門新聞 写真コンクール

## 加盟社社員・読者及び一般応募 全国から842点

文部科学大臣賞		
誕生の時	加藤和弘(かとうかずひろ)	一般応募
理事長賞		
一刻も早く命を救え! 耶馬渓の山崩れ〜発生当日	大嶋聖三 (おおしま せいぞう)	大分建設新聞社
審査委員長賞		
-	1.007 (0.5.14.5)	60. <del></del>
夏色	小野早苗 (おのさなえ)	一般応募
加盟社特別賞		
どうやって線路を曲げるの?	荒木勝己(あらきかつみ)	建通新聞社
秀作		
夫婦隼 愛育む餌渡し	浅沼裕之 (あさぬまひろゆき)	不動産経済研究所(読者)
霊峰石鎚	石川賢一(いしかわけんいち)	一般応募
子狐たちの戯れ	入岡一郎(いりおかいちろう)	一般応募
里山の秋	鹿島和生 (かしま かずお)	一般応募
虹色に心奪われ	木村篤史 (きむらあつし)	一般応募
豪快にジャンプ	齋藤孝子 (さいとうたかこ)	一般応募
昼下がり	西久保信一 (にしくぼしんいち)	一般応募
ハロウィンキャット	丹羽賢一 (たんばけんいち)	一般応募
雪が降ってきたー早く早く	橋本豪也(はしもとひでや)	一般応募
豪雪地 自動運転車で外出支援	勝又時彦(かつまたときひこ)	東京交通新聞社
行く秋	長谷川裕子(はせがわゆうこ)	一般応募
春爛漫	藤松政晴 (ふじまつまさはる)	一般応募
堰堤の鳥たち	松山 進 (まつやま すすむ)	一般応募
はだかまつり	村上 泉(むらかみいずみ)	日本水道新聞社(読者)
招待作品		
村祭り	有田 勉 (ありたつとむ)	一般応募
核融合実験装置の建設2017	山口翔平(やまぐちしょうへい)	日本電気協会新聞部



加盟社特別賞

どうやって 線路を曲げるの?

荒木勝己/建通新聞社



名誉ある賞をいただき、ありがとうございます。写 真は川崎市の「京浜急行大師線連続立体交差事業」の 現場見学会を撮影したものです。鉄道を運行しながら 産業道路駅直下にトンネルや地下駅を構築し、レール

を敷設している様子を見てもらおうと東門前小学校の 児童を招待しました。児童たちは地下 13行の現場に下 り、京浜急行電鉄の担当者に熱心に質問していました。 2月26日の建通新聞神奈川1面に掲載されました。

## 順不同



夫婦隼 愛育む餌渡し 浅沼裕之 / 不動産経済研究所(読者)





子狐たちの戯れ 入岡一郎 / 一般応募





行く秋 長谷川裕子 / 一般応募







堰堤の鳥たち 松山 進/一般応募







豪雪地 自動運転車で外出支援 勝又時彦 / 東京交通新聞社







はだかまつり 村上 泉 / 日本水道新聞社(読者)



里山の秋 鹿島和生/一般応募



虹色に心奪われ 木村篤史/一般応募



ハロウィンキャット 丹羽賢一 / 一般応募



霊峰石鎚 石川賢一 / 一般応募



昼下がり 西久保信一/一般応募



豪快にジャンプ 齋藤孝子 / 一般応募



雪が降ってきた-早く早く 橋本豪也/一般応募



村祭り 有田 勉/一般応募





核融合実験装置の建設 2017 山口翔平 / 日本電気協会新聞部



春爛漫 藤松政晴 / 一般応募